

2 一般会計の決算状況

平成28年度の一般会計決算は、表3のとおり、歳入決算額は、260億円で、前年度に比べ28億円（12.3%）増となりました。歳出決算額は、253億円で、前年度に比べ25億円（10.9%）増となりました。

収支の状況は、歳入歳出差引額が7億円、実質収支が6億円となりました。実質収支から前年度の実質収支を差引いた単年度収支は5億円となり、単年度収支に積立金や積立金取崩額等を加減した実質単年度収支では、1億円のマイナスとなりました。これら実質収支等の状況については、図1をご覧ください。

なお、一般会計決算の推移については、図2をご覧ください。

表3 一般会計決算収支状況

（単位：千円、%）

区 分		平成28年度 決算額 A	平成27年度 決算額 B	増 減 A - B	伸 び 率 (A-B)/B
歳入決算額	A	25,955,300	23,119,858	2,835,442	12.3
歳出決算額	B	25,297,834	22,812,079	2,485,755	10.9
歳入歳出差引額	C (A-B)	657,466	307,779	349,687	113.6
翌年度繰越財源	D	65,328	167,593	△ 102,265	△ 61.0
実質収支	E (C-D)	592,138	140,186	451,952	322.4
単年度収支	F (E-前年度E)	451,952	△ 1,782,017	2,233,969	△ 125.4
積立金	G	940,659	983,096	△ 42,437	△ 4.3
繰上償還金	H	0	0	0	-
積立金取崩額	I	1,500,000	500,000	1,000,000	200.0
実質単年度収支	J (F+G+H-I)	△ 107,389	△ 1,298,921	1,191,532	△ 91.7

注) 表示単位未満四捨五入のため、計算が合わない場合があります。

図1 実質収支等の状況（一般会計）

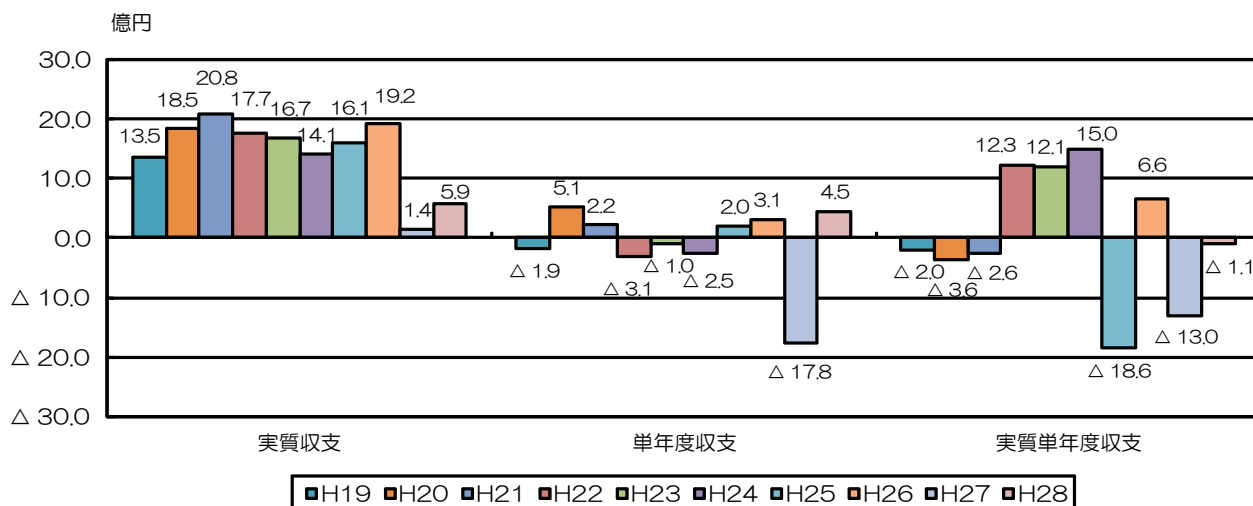
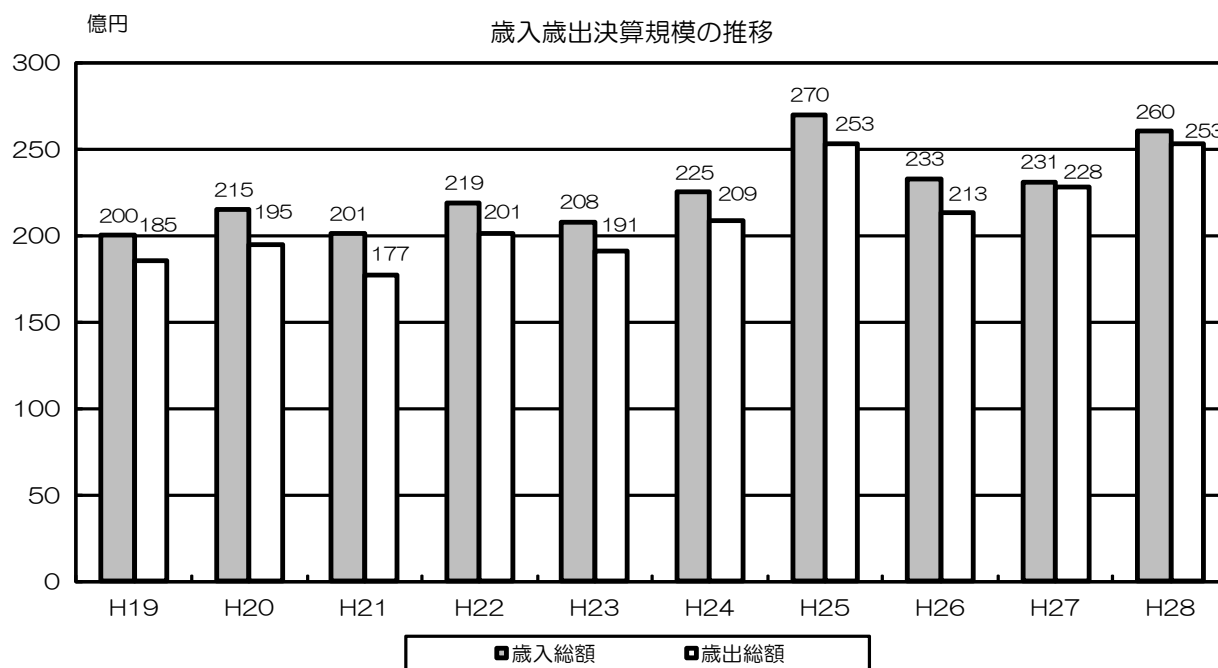


図2 一般会計決算の推移



実質収支・・・歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額から、翌年度へ繰り越す事業に充てるための財源を差し引いたもので、当該年度に属すべき収入と支出の差を示すものです。

単年度収支・・・実質収支は前年度以前からの収支の累計であることから、当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたものです。

実質単年度収支・・・単年度収支には、実質的な黒字要素（基金への積立、繰上償還）や赤字要素（基金の取り崩し）が含まれているため、これらを控除した単年度収支が、実質的にどのようになったかを表したものです。